

全日本1位も輩出しました！ 「軽井沢スケートクラブ」創設1年目にして好成績

昨年5月に活動を始めた軽井沢スケートクラブ。トレーニングは月曜、木曜、土曜の週3日、各2時間とし、町内外の小学2～6年生までの12名のメンバーは、夏休み中も、祝日も、年末年始も、どんなに寒い日も、休むことなく練習を積んできました。

そうした努力の甲斐もあり、今シーズンは全員、自己新記録を出すことができました。とくに今年1月、北海道釧路市で行われた「第3回全日本ノービス競技会」では、5年生の古屋野利航くんが500mで優勝、1,000mでは4位、また高柳就一くんは1,000mで決勝進出と大活躍。小学生の全国大会で「軽井沢スケートクラブ」の名を轟かせました。

1月下旬には、茅野市で行われた「第24回クラブ対抗競技会」に初めて参加しました。仲間を一心不乱に応援する姿は、チームの結束力の高さを感じました。結果は、男子が2位と2点差で、惜しくも総合3位。このわずかな点差がとても悔しかったようで、翌日からの練習では、もっと上を目指そうとする意欲が全員に見られました。そして2月、6年生4名のクラブ内卒業式を行って、昨シーズ

ンの活動を終了しました。

1年間の活動を通して、「基礎体力がついた」「食生活に気をつけるようになった」「大きな声で挨拶ができるようになった」「周りで支えてくれる人に感謝するようになった」など、スケート以外でもそれぞれにより変化が生まれています。今季は新しい仲間を加えた14名で活動が始まりました。メンバー全員が新記録を更新し、またみんなで喜び合えるように、指導側もサポートしていきたいと考えています。

スケートに興味のある方はお気軽にお問い合わせください。見学は随時行っています。

〈お問い合わせ〉info@karuizawaclub.ne.jp



おかげさまで3周年 「おとなの体操教室」参加者にインタビュー

「おとなの体操教室」が始まって約3年が経ちました。おかげさまで好評をいただき、教室が続けられることを深く感謝いたします。

今回は、開始当初からお越しいただいているお客様、佐藤篤子さんに、教室についての感想をうかがいました。

Q 「おとなの体操教室」に参加して、どんな感想をお持ちですか？

A ストレッチ方法や自分の体重を使ったトレーニング方法、ストレッチポールを使った体のほぐし方、日常生活で活かせる運動など、何かに特化しているのではなく、いろんな運動ができるのがいいですね。それもていねいに教えてくださいます。自分の体を知るきっかけにもなります。

Q とくにどんな点が気に入っていらっしゃいますか？

A 4人のトレーナーさんが週替わりで教えてくださいますが、それぞれの指導法があり、得意分野を生かした運動を紹介してくれて、とてもバラエティー豊かなんです。だから飽きないところがいいですね。



Q 初めの方でも参加しやすいと思いますか？

A 大丈夫です！毎回、簡単な運動からスタートするので、運動が苦手でも終わりまで楽しめると思います。教室の雰囲気がいいので、1人でも気軽に参加できます。最近、新しい参加者さんが増えているのではないのでしょうか。そういう方と一緒に、お話ししながら体を動かすのも楽しいですよ。

佐藤さんは前から日常的に運動に親しんでいる方のため、劇的な変化はありませんが、当初と比べて全身の筋肉が鍛えられた印象です。以前は辛そうだったストレッチも、いまでは難くこなされています。

いかがでしたでしょうか。体験者の生の声が、皆さんの参考になればと思います。スタッフ一同、ご来場をお待ちしております。

対象：18歳以上
開催：毎週日曜日 11:00～11:45
場所：軽井沢風越公園総合体育館スタジオ
参加料：1回500円
持ち物：動きやすい服装、屋内用運動靴



いつもありがとうございます。SC軽井沢クラブの事業に協賛いただいている皆さま（敬称略・順不同）

(有)あらかし酒店 (株)インテック (株)永建 SO軽井沢プログラム 追分宿おろぎや (有)クリーンライフ (株)シンビ堂医薬 (株)タツノ 鹿島軽井沢リゾート(株) (有)軽井沢デリカテッセン 長岡鉄工(株) たてしなアップル ムーゼの森 セコムジャスティック上信越(株) (株)軽井沢IT経営センター (有)806カルイザワ クレイポルド(株) (株)モトヨシ (株)松井 千曲電業(株) 宮原酸素(株) オキザリス おぎはら整骨院 (有)井出工業 (有)アーデン軽井沢 田中左官店 大東建託(株) シチズン時計(株) シチズンファインデバイス(株) シチズンマシナリー(株) シチズン時計マニュファクチャリング(株) 軽井沢タリアセン (株)タカサワマテリアル (医)恵仁会 田口紙業(株) (株)emda GAViC (株)佐藤肉店 巴工業(株) キリマン酒店 熊野皇大神社 (株)井上 西軽サク泉興業 清水商店 (株)ヤオトク ヨネックス(株) サブティー(株) (有)大坂屋家具店 (株)丸山工務店 軽井沢ガス(株) (有)萬屋 (株)真和ビジネスコンサルティング 弥栄 (株)TAGインターナショナル (有)ルーツ



男子カーリングチーム・SC軽井沢クラブがおかげさまで2018年平昌五輪に出場できるようになりました。たくさんの応援に衷心より感謝申し上げます。軽井沢はスポーツするのに最適な初夏になろうとしています。冬に鈍った体を一緒に思い切り動かしましょう。皆様のお越しをお待ちしています。

発行：2017年4月25日
編集：NPO法人スポーツコミュニティ軽井沢クラブ
長野県北佐久郡軽井沢町長倉 332-4 TEL) 0267-44-6680
MAIL) info@karuizawaclub.ne.jp WEB) http://karuizawaclub.ne.jp



男子カーリングチーム・SC軽井沢クラブ 2018年平昌五輪の出場決定！

日本代表で当クラブ所属の男子カーリングチーム・SC軽井沢クラブが、来年、韓国で開催される平昌五輪に出場することになりました。

チームは、4月にカナダ・エドモントンで開催された世界男子カーリング選手権に参戦。5勝6敗で7位、予選敗退となったものの、昨年(日本男子過去最高の4位)と今年の順位で獲得した五輪ポイントの合計により、出場国枠を獲得することができました。自力で権利を獲得したのは、日本男子としては初めてのことになります。

男子カーリングチーム・SC軽井沢クラブは、1998年の長野五輪を軽井沢町で観戦してカーリングを始めたスキップの両角友佑を筆頭に、サードの清水徹郎、セカンドの山口剛史、リードの両角公佑、そして新加入の若手、フィフスの平田洸介と長岡はと美コーチの6名で構成されています。2005年に「SC軽井沢クラブ」の名称で始動し、世界と戦えるチームを目指し、何とかやりくりしながら海外遠征に出かけ、働きながら練習時間をつくり、力をつけてきました。今年、日本選手権5連覇(優勝は8回目)を達成し、世界選手権は5年連続出場を果たしています。



平昌五輪が開催される2018年は、長野五輪の開催からちょうど20年。カーリングの競技会場となった軽井沢町でまかれた種から、芽が出て、ようやくつぼみがつきました。

五輪出場だけにとどまらず、世界の舞台で表彰台に上がることが、チームの大きな目標です。開催まであと約10ヶ月。日本男子として最高のパフォーマンスを見せられるよう、メンバー一丸となり邁進していきます。これからも、皆様の温かいご声援をよろしくお願いたします。

Road to PyeongChang — 長野から世界へ！ 「カーリングサポーターズクラブNAGANO 2018」始動

昨年2月の日本カーリング選手権で、女子は中部電力、男子はSC軽井沢クラブが優勝しました。軽井沢を拠点とする長野県勢の男女チームが平昌五輪への扉の前へ進み出した瞬間でもありました。

その後、世界選手権の結果により、日本は男女とも五輪出場枠を獲得。男子は日本選手権連覇によって、SC軽井沢クラブが日本代表として出場することがすでに決定しています。女子は今年9月に日本代表決定戦が行われ、日本選手権の昨年の覇者・LS北見と今年の

覇者・中部電力が対戦、勝者が五輪に出場することになっています。

長野五輪から20年。男子に続き、女子も長野県から出場を決めてほしいという願いを込めて、このたび地元団体が集まり「カーリングサポーターズクラブNAGANO 2018」が発足、4月19日には設立総会が開かれました。

世界の大会に向けて両チームが大きく羽ばたけるよう、今後とも熱い応援とご協力をお願いします。

カーリング未来プロジェクト 「カーリングエリートアカデミー」2016年度終了

世界で活躍するアスリート育成を目指し、昨年5月に開校したカーリング未来プロジェクト「カーリングエリートアカデミー」。2016年度生の女子2チーム Karuizawa Jr.(ローレル)と Team Karuizawa (FB) は、男子チーム・SC軽井沢クラブの指導のもと、1年間氷上や陸上でトレーニングを行ってきました。

両チームとも目標だった日本ジュニア選手権の優勝は逃し、ローレルは準優勝、FBは6位という結果でした。今期もアカデミー生として受講の継続が決まった両チームは、昨シーズンの悔しさをバネ



に、日本ジュニア選手権の優勝と世界ジュニア選手権の出場を目標に練習を続けていきます。

エリートアカデミー生たちの活躍に引き続きご期待ください。

フットサルチーム「SC軽井沢クラブ」今季こそ優勝&北信越昇格を

昨年4月より当クラブの所属となって「SC軽井沢クラブ」の名称で活動してきたフットサルチーム(旧・セロリーズ)。クラブチームとなって運営体制が整い、支援いただく協賛社も7社に増えました。これまで同好会としてプレーを楽しんでいた所属選手21名の意識も従来とは大きく変わり、このチーム名で勝つために力を注いできました。

昨シーズンの最終結果は、長野県フットサルリーグ1部で準優勝、フットサル全日本選手権長野県予選で準優勝。県1部リーグで優勝し、北信越リーグに昇格するという目標には、あと一步届きませんでした。チームの成長に手ごたえは得たものの、格上と互角に戦うにはさらに進化が必要です。練習の内容や試合戦術をもう一度見直し、今シーズンこそ県リーグ優勝と北信越リーグ昇格を果たしたいとチーム全員が意気込んでいます。



昨シーズン中、練習拠点の風越公園総合体育館では2回試合が行われ、教室の教え子たちがエスコートキッズをしてくれたり、近隣の方が見に来てくれたり、チームは多くの方から力をもらいました。そうした応援に少しでもお礼ができればと、3月11日に、協賛社様、サポーターの皆さんを招いて「感謝祭」を開催しました。施設への感謝を込めて全員で風越公園と湯川ふるさと公園の周辺のごみ拾いを行ったほか、じゃんけん大会や4チームに分かれてゲームを楽しみました。

「今季こそ結果を出して、皆さんにより報告をしたいと思います。今後ともフットサルチーム・SC軽井沢クラブをどうぞよろしくお祈りします」(キャプテン・土屋浩樹談)

Facebook : @sckaruizawafc
<https://www.karuizawaclub-futsal.com/>



「第10回軽井沢ユニバーサルスポーツ祭」参加者、ボランティア募集!



例年秋に開催していた「軽井沢ユニバーサルスポーツ祭」は、10回目となる今回から初夏に行われることとなりました。

このイベントは年齢や性別、国籍、障がいの有無を問わず、誰でも気軽に参加して健康的に体を動かしてもらうことを目的としており、世代を超えて楽しめる軽井沢では恒例となった催しです。みんなで思いきり体を動かして、楽しい時間を過ごしましょう。

募集はチーム単位となります(個人参加も可能です)。ご家族やお仲間と一緒に申し込みください。当日はフリーマーケットも開催予定です。

期 日 : 2017年6月17日(土)10:00~
 場 所 : 軽井沢風越公園総合体育館
 <申し込み・お問い合わせ>info@karuizawaclub.ne.jp

自転車好き集まれ! 「SC定例サイクリング」がはじまりました

前号でご案内した「SC定例サイクリング」の活動を開始しました。第1回目は3月18日、前橋から参加いただいた5名のサイクリンググループと一緒に、富岡~甘楽~下仁田周辺の軽いアップダウンを含む約60kmのコースを走りました。

5名のサイクリストは普段から一緒に走る仲間というだけあり、速度やペダリングのリズムが揃っていて、初回から快適な走りを楽しめました。ちょうど梅の花が満開で、軽井沢よりひと足早く春の訪れを感じることもできました。

今後については、「ロングライド」「ライトサイクリング」「林道・温泉サイクリング」の3カテゴリーで計画していきたいと考えています。詳細は当クラブのフェイスブックのノートにてお知らせします。興味のある方や、走行会についての要望等がある方は、お気軽にお問い合わせください。

Facebook : @sckaruizawaclub
 <申し込み・お問い合わせ>info@karuizawaclub.ne.jp



「フットボールスクール」※1 東御JFCと交流試合を行いました

3月4日、当クラブの「フットボールスクール」のU-8クラス(小学1~2年生)は、東御市ふれあい体育館で東御JFCと交流戦を行いました。



計6試合を行い、9対4で見事勝利。みんなでゴールを目指し、みんなでゴールを守るという日ごろからの練習の成果が存分に発揮された試合内容でした。一人ひとり自分の目標を持って試合に臨み、失敗を恐れず果敢にプレーし、決めるべきところでしっかり攻めることができました。試合相手を尊重し、きちんと挨拶ができた点も大きな収穫です。

教室では今後も交流戦や大会へ積極的に参加し、試合経験を増やしていきたいと考えています。

※1「フットボールファクトリー」は4月より「フットサルチームSC軽井沢クラブフットボールスクール」と名称が変わりました。

<教室に関するお問い合わせ>info@karuizawaclub.ne.jp

「フットボールスクール」※1に通う2選手 県大会で準優勝に貢献

当クラブの「フットボールスクール」の生徒で、サムFC※2にも所属する小学4年生の柳澤圭さんと大竹健太さんが、2月12日に行われた長野県少年フットサル大会にサムFCの選手として参加し、チームを準優勝に導く活躍をしました。

教室でもずば抜けた能力を発揮する2人。柳澤さんはドリブルの状況判断が上手で、長野県選抜の練習会に参加するほど実力が認められている選手です。負けず嫌いな大竹さんは、相手からボールを奪取するのが得意で、シュートテクニックも抜群です。

2人とも将来の夢は「プロサッカー選手」。今後も教室などで練習を積みながら、ぜひ夢を叶えてほしいと思います。

※2 軽井沢、小諸で活動する少年サッカークラブ



発足から1年がたちました 一緒に走ろう「風越ランニングサークル」



「風越ランニングサークル」は3月15日で活動開始から1周年を迎えました。当初は4、5人程度の小さなサークルでしたが、回を重ねるうちに仲間が増え、今ではメンバーは20人近くになっています。

走るだけでなく、コースのゴミ拾いをしたり、一致団結して軽井沢リゾートマラソンに挑んだり、練習後にカーリング体験を行ったりと、活動の幅も広がりました。メンバー同士の会話も増えて、練習が時間通りに始まらないこともしばしばですが、和やかな雰囲気の中、みんなで楽しい時間を過ごしています。

開 催 : 毎週火曜日、
第1・3土曜日
10:00~

※事前申込、参加料は不要です。
 <お問い合わせ>
 TEL.070-1449-3556
 (スカップ軽井沢・トレーニングルーム)



「軽井沢フェアリーズ」悔しい2回戦敗退 今季のB大会優勝を誓う

当クラブ職員の佐藤つばはが所属する女子アイスホッケーチーム「軽井沢フェアリーズ」が2月24日~26日、栃木県で行われた「全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)」に出場し、残念ながら2回戦敗退となりました。このB大会で優勝し、トップチームで争うA大会に昇格することは、チームがずっと掲げてきた大きな目標です。昨シーズンは選手間のコミュニケーションをさらに強化して練習を積み重ねてきただけに、とても悔しい結果となりました。

「軽井沢から応援してくださった方や、わざわざ現地まで駆けつけてくださった方にいい報告ができなかったことを申し訳なく思います。ただ、個々のスキルはもちろん、チーム力はこの1年で格段に上がり、ライバルチームとの差は縮まったと今大会で確信することができました。今季こそB大会で優勝できるように、チームはすでに練習に取り組んでいます。引き続きご声援をよろしくお願いいたします」(佐藤談)

1年後、この紙面でうれしい報告が掲載できることを願います。今後も当クラブは軽井沢フェアリーズを応援していきます。



12チーム、約80人が参加 「軽井沢風越フットサルカップ2017」を開催しました

3月25日、軽井沢風越公園総合体育館にて「軽井沢風越フットサルカップ2017」を開催しました。

今回は12チーム、80人以上と多くの方に参加していただきました。6チームずつ2グループに分かれて予選リーグからスタート。いずれも白熱した試合が展開され、数多くのスーパープレー、スーパーゴールが見られました。

決勝戦は各グループ1位のタンバリン(軽井

沢町)VSサルターレさかき(長野県1部リーグ・坂城町)。1対1の接戦の末、PK戦を(5-6)で制したサルターレさかきが、みごと優勝しました。

地元チームや長野県フットサルリーグチーム、高校生チームなど様々な地域、年代の人との交流の場にもなり、とてもにぎやかなイベントとなりました。このフットサルイベントは時機を見てまた開催する予定です。



求人 インストラクター (パートタイム)募集

- 水泳、水中運動の指導者。経験者優遇します。
- 各種運動指導者。得意な指導種目をお知らせください。

<お問い合わせ>
info@karuizawaclub.ne.jp